

心豊かでたくましく 共に生きる子ども



ひらかた

12月号

令和6年12月2日
上尾市立平方小学校
校長 大野 和孝



ホームページ [上尾市 平方小学校](#) 検索 QRコード

～人権について考えよう～

校長 大野 和孝

日中も寒い日が続くようになり、冬の訪れを感じます。令和6年、そして1年で一番長い学期も残すところあとひと月になりました。暑かった8月末から始まり、残暑が続いた2学期ではありましたが、様々な行事、普段の授業を通し、実りの多い学期となりました。

さて、今月の全校お話し会では、「人権について考えよう」という話をしました。昭和23年（1948年）12月10日、国際連合総会においてすべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準として「世界人権宣言」が採択されました。また、採択日の12月10日は「人権デー（Human Right Day）」と定められました。日本では、12月4日から12月10日までを「人権週間」とし、法務省や関係機関・団体が協力して全国的に人権啓発活動が展開され、人権尊重の普及高揚が呼びかけられていることから、この機会に話をしました。

『人権』とは、「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」「人間が人間らしく生きる権利」です。文部科学省では人権教育の目標として「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」を掲げています。この内容は、本校の学校教育目標である「心豊かでたくましく 共に生きる子ども」と多くの部分で共通していると考えています。本校では、教育活動の様々な機会において、他者とのかかわりの場면을重視し、自分も他の人も大切にす的心情と態度を育んでいます。

先月、校内では「なかよく楽しい学校生活を送るための標語」の募集を行いました。子どもたち一人一人が「相手を思いやる心」「いじめを絶対に許さない強い心」「いじめを自分のこととして捉え、他人の痛みにも共感する心」などの観点から作成しました。標語の作成を通し、自分の生活を振り返ったり、仲間の標語を見て自分の生活に生かしたりできればと思っています。先月の校長講話では「いじめの矢」の話をしました。①机やノートへの落書き、ものかくしなどの「いやがらせの矢」②失敗したり、自分と違っているところを笑ったり馬鹿にしたりする「からかいの矢」③一人ぼっちにしたり、陰でひそひそ話をしたりする「無視や仲間外しの矢」④遊ぶふりしてたたいたり蹴ったり、何気なく廊下で肩をぶついたりする「暴力の矢」⑤死ね、消えろ、きもい、などの「言葉の暴力の矢」。いじめを受けた人の心に様々な矢が刺さること、刺さった矢は、いじめを受けた人の力だけでは抜けないこと、そして、矢が抜けたとしても跡が心に残ることなどを話しました。

「いじめはいけないこと」と子どもたちは分かっています。しかし、「人を大切にする」ことを理解していないと、知らぬ間にいじめの加害者になっているかもしれません。自分の思いが相手に伝わらず、感情のまま言葉にすると、相手を傷つけてしまうかもしれません。継続的に、「いじめ」や「人権」について考える機会を設け、望ましい人とのかかわりを実践していけるよう取り組んでいきます。ぜひ、ご家庭でも「人権」に関連した話題を取り上げていただき、話し合ってみてください。

「誰か」のこと じゃない。



人権週間

12月4日～10日